両辺に何をしたかを説明する

等式の性質をもとにする

両辺に同じ数や式を加えたり、ひいたりします。

両辺に同じ0でない数をかけたり、両辺を同じ0でない数でわったりします。

移項を「両辺に何をしたか」に戻して説明しましょう。

例：3x + 4 = 28

3x + 4 = 28

3x = 24

x = 8

左辺：3×8 + 4 = 28、右辺：28

操作カードを対応する行に動かす

講師が動かし、どの行からどの行への操作かを尋ねます。

元の方程式に代入する

両辺から4をひく

両辺を3でわる

説明・途中の計算を書く

かっこの中の各項にかける

どの項に−2がかかるか

−2(x − 3)を−2x − 6としたら、

−2×xと−2×(−3)を別々に考えます。

−2(x − 3) = −2x + 6

例：1 − 2(x − 3) = x + 1

1 − 2x + 6 = x + 1

7 − 2x = x + 1

6 = 3x

x = 2

左辺：1 − 2×(2 − 3) = 3

右辺：2 + 1 = 3

講師がカードを動かして尋ねる

符号のついた数の積として説明します。

−2×x	−2×(−3)
−2x	+6

積を分けて説明する

別の問題で自分の考え方を確かめる

J1. 7x − 5 = 16を解き、元の方程式に代入して確かめてください。

解答· 理由を書く

J2. 4 − 3(x + 2) = x + 6を解いてください。かっこをはずした式も書いてください。

解答· 理由を書く

J3. $\frac{x+1}{3} - 2 = 1$を解いてください。最初に両辺全体に何をかけたかを書いてください。

解答· 理由を書く

J4. 0.2x + 0.7 = −0.1を、両辺に同じ数をかけて小数をなくしてから解いてください。

解答· 理由を書く

J5. 5 − 2x = 11にx = −3を代入します。左辺、右辺、解かどうかの結論を書いてください。

解答· 理由を書く

J6. 同じ値段のペン4本とケース300円で合計1500円です。ペン1本の値段をx円として式を立て、答えを確かめてください。

解答· 理由を書く